

(学校運営協議会・報告様式)

令和6年度 第6回 大木中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和7年2月17日(月) 18:00 ~ 19:40

2 場 所 大木中学校 会議室1

3 部活動地域移行についての説明 教育委員会教育指導課

4 あいさつ

(1)委員長より

今後紙とデジタルの教科書を併用する見通し(次期学習指導要領施行から)のなか、混乱のないようにしてほしい。

(2)学校長より(兼 近況報告)

R7年度学級数、生徒数等、R6年度長欠生徒の状況について説明

5 クロムブック活用の授業紹介(ICT担当)

スライドを使って、実際どのような活用をしながらどのような授業をしているかについて例をしながら紹介。紙ベースとICTのバランス、情報モラルも重要。

<学校長>今は先生と生徒、こども同士もつながってパソコンを使っている。常に考えている状況、皆が授業中「考える」ことを目指している。復習のため家で使うこともできる。授業参観でも実際にみてご意見ください。

6 学校からの報告

(1)教務より

<学校長>3年生進路状況について説明(資料参照)。

本日から後期選抜受検者保護者会を行っている。私立受験は鈴鹿、海星が多い。他校とは傾向が違う。

3月6日卒業式、3月10日後期選抜。見守っていただきたい。

(2)生徒指導より

いじめアンケート実施と結果について、2件認知。聞き取り、保護者連絡等対応済。

人間関係におけるトラブル多い他、SNS原因で人間関係壊れるトラブル。他校間とのトラブルも。バイク、喫煙もあった。市内でも水たばこの例ある。交通ルールについて一部ヘルメット無しや一時停止違反、並列走行等、地域からも連絡あり。学校では1年生で自転車乗り方指導行っているが、地域と連携して交通安全対策していきたい。

(3)研修より

R7年11月21日研究発表会にあたり、外部講師招聘して1月10日授業研究と校内研修会。現状に対して助言と指導を受けた。校区小学校からも学校長や教員の参加もあった。

7 熟議事項

(1)熟議内容「学校関係者評価について」

①学力向上、②ICTの活用、③不登校対策、④地域連携について

<学校長>基礎学力を上げるには本を読ませるのが間違いない。幼稚園くらいの父母に説くとよい。読書週間をつけることがよいと市も言っている。電子図書館も活用しているが読書量は増えていない。厳しい状況。鈴鹿市は「よむよむワークシート」を採用しているが、この利用率もなかなかあがっていない。こどもたちもいろいろ忙しい。学校の時間も有限である。家庭学習でどれだけ伸ばすかが課題。なんとか学力をつけて卒業してからの選択肢が増えるようにしてやりたいというのが願い。

<委員A>クロムブック見せてもらうという話が出ていたが、イメージできない。どういう感じになるか。ラジオで聞いたが、どこかの国で、PCで学習していたが今紙媒体にもどってきた、学力が上がらない、文字を書く学習に転換した国もあるそうである。自分も書いたほうが覚えが良いと感じている。多面的にということであるが、書くことも大事だと感じている。そのようなことも考えてほしい。

<学校長>ICT活用について、日本の場合はハイブリッド式。ある国はすべてタブレット、日本はいろいろ考えながら進めている。ICTが便利な部分もある。ご意見ありがたい。クロムが正しく書くことが古いと職員が思っているわけではない。

<委員長>学校を訪れて授業を見ているが、紙ベースで指導する場面も多い。必ずしもICTばかりではない。そんなに問題はないのかなと思っている。端末で済ませるということではない。

<委員B>塾へ行かないとわからないというのが最近の学校の授業と思っている。わかっていることが前提で授業が進んでいる。数学や英語は塾へ行かなくてもそこそこできるようにしてほしい。

<委員長>私たちの時代は数学なら公式にあてはめて反復してやっていった。今は少ないように感じる。英語は文法をきちんとやっているとわかる。基礎を知っていないと落ち込んでくるのでよろしくお願いします。

<委員A>中学校時代不登校だった子が、20代になって、自分の得意分野でやっているよう。中学校の時に多少不登校ということがあっても、大人との交流があることで将来につながる例もある。何がいやで学校へ行かないかわからないが、親もあまり気にしていないようであった。不登校でも大人と話すとな問題ないようであった。

<委員B>適応教室の見学はできるのか。小学校から長期欠席の子不安。声をかけてあげると4月のスタートスムーズになるのでは。

<学校長>小学校6年生については引き継ぎ支援会議を行っている。今年度18人。管理職と1年生担当(予定)、特支Co、小学校担当者等で構成。その中で、見学等についても必要に応じて行っている。

<委員C>地域からすると中学校(中学生)かかわりがない。避難所となっているが、地域のお年寄りが上へあがることを想定しているのか、そのあたり先々考えてもらったほうがよい。

<学校長>生徒は箕田小へ避難する矛盾がある。地域の方々は階段から上へあがることになっている。宣伝は市の管轄。学校によっては地域とコラボして避難訓練を行うこともある。ここはなかなか日が合わなかった。また考えていく。

<委員D>R5年は箕田地域で訓練を行った。課題検証も行った。

<委員E>長太はR6年避難所数か所への避難訓練。実際に参加して気づくこともある。箕田の人は、避難したら中学生はいない(箕田へ避難している)と知らないのでは。

<学校長>市が宣伝不足もあると思う。箕田小4階は小学生用フロア。市へも要望かける。

(2)クロムブック活用の授業紹介→5へ

(3)令和6年度の学校運営協議会運営について

<委員A>chromebook活用方法どうしたらよいかについて

<委員F>chromebookを活用しての回答に「わからない」をチェックした生徒がだれかわかるのか。

<学校長>すぐにわかる。そのうえで対応する。直接指導している。いろいろな子がおり、多様な時間の使い方をしている。たとえばピアノに打ち込むため勉強時間が少ない子、部活一生懸命で授業中寝てしまう、など、要日本語支援生徒など様々。道半ばなところもある。中学校の特性上、クロムブックを活用して、自分で学びたいことを選択できる。ただ、こどもは忙しい。学校で聞いていればついていける小学校と違い、中学校は家庭での復習が必要。反復と自主勉強なんとかやってほしい。

<委員G>時代についていくので精一杯というところもあるが、自分が親や先生の立場になったら困っている生徒を目の当りにしたら本当に大変だろうと思う。

<委員長>昨年ある日突然母と登校するように、そのうち母と兄と登校、そして保健室登校していた生徒が、やがて教室で授業をうけるようになっていた。1年生ということもあるが、何かあったら適切な対応をしていただきたからかなと思っていた。そういうことがあったので、そういうところも見えていなくちゃなと思った。生徒をみて意見を言わないと、学校へ足を運んで意見を言わないといけないと思っている。みなさんも時間の許す限り来ていただいとほしい。

<委員 H>書いて覚える時代の人間であるが、テーマに基づいた多面的多角的な学習をしてはどうか。相関図を書いて覚えるのはどうか。発展していくのではないか。

<学校長>その学習は社会科教員が活用している。徳川をテーマに相関について生徒同士説明もさせる。また紹介する。

<委員長>体育の授業でただ体を動かすだけでなく、リズム感を養うために動画に合わせて身体をうごかす。今と昔では全然違う。五感を使っている。

8 CS コーディネーターより

この1年間大木中学校のためにご協力ご助言ありがとうございました。

本日、クロムブックがどんなものか見てみたいという声に対して、紹介あったが、まだわかりづらかったのではないか。ある小学校ではアプリをどのように使ってどう学んでいるかをみてよくわかったということがある。

ここでも具体的にしてもらおうと、イメージできるのではないか。今日はさわりであったが、来年度は中学校ではこのようにやっているということをしてもらおうとよいのでは。あるいは、学校へ来て実際に授業を見ていただきたい。

学力向上のところで、授業中わかって反復学習しないと定着したいため、そのために紙媒体とクロムがある。クロムはドリルとしても使える。どう道具としてうまく使っていくかをやっている。

来年も不登校、避難訓練など含めてこの場で考えたらいいと思う。この1年ありがとうございました。

9 その他

・図書館地域開放について

<委員 C>4月から代表が交代する。

図書館開放時に中学生は制服かジャージでと決まっているのか。

図書館へ来るときに私服はいけないのか。

一般開放なので、私服でもいいのでは、ハードルがさがるのではないか。

・今年度退任委員あいさつ

以上